

戦後72年目の夏 「戦争しない国」をいつまでも

戦後72年目の夏、あらためて「戦争だけはイヤだ」と思われた方も多いでしょう。

1945年8月15日に敗戦を迎えた「15年戦争」は、日本国民310万人、アジアの2000万人以上の命を奪いました。その悲しみの上に、「二度と戦争しない」と誓ったのが日本国憲法です。この平和憲法があったから、戦後ずっと、日本は「戦争しない国」を続けてきました。

ところが、「安保関連法＝戦争法」、「共謀罪」法を強行した安倍首相は、「9条」を変えようとしています。「戦争する国」をめざす安倍改憲をストップさせましょう。



だから 9条を守りたい

政治の私物化許さない！ 「森友・加計疑惑」徹底究明を

「森友疑惑」につづいて、首相の「腹心の友」が理事長をつとめる加計学園だけに獣医学部新設が認められ、税金133億円が投入されるという「加計疑惑」。

安倍首相の「ご意向」で行政が歪められてはなりません。「閉会中審査」でも疑惑は増すばかりです。

まともな調査や証人喚問なしの幕引きは許されません。内閣は、野党の臨時国会開会要求に答えるべきです。「安倍首相逃げるな！」の声が全国で沸き起こっています。「政治の私物化」を許さない国民の声が、安倍政権を追い詰めています。徹底究明を求めましょう。

安倍首相の「9条加憲」は、 9条を壊すもの

安倍首相は、「2020年を新しい憲法を施行する年にしたい」と期限を切った「改憲」を宣言しました。憲法尊重擁護義務を負う総理大臣の改憲宣言は、憲法違反であり、許されません。

安倍首相は、憲法9条に新たに3項をつくり、「自衛隊」を「普通の国の軍隊」として、憲法に書きこもうとしています。9条によって、現在、自衛隊は「戦場」で「武力行使」をおこなうことを制限されていますが、3項を「加憲」し、その制限をなくそうというのです。これでは、9条1項・2項が死文化し、9条が壊れてしまいます。

「核兵器禁止条約」採択

9条こそ世界の流れ

7月7日、国連で「核兵器禁止条約」が採択されました。1928年のパリ不戦条約以来の「戦争違法化」の流れは、ついに、「核兵器の違法化」まですすみました。現代の戦争は、核戦争に象徴されるように、非戦闘員を無差別に大量に殺戮します。だから、戦争を起こさないことが一番大切です。そのため、「戦争違法化」ルールがつけられてきました。戦力の不保持、国の交戦権の否認など、「戦争違法化」の最先端をいくのが日本国憲法9条です。

北朝鮮の無法に軍事力で対処すれば、無法はエスカレートするばかりです。対話でこそ、解決の道が開かれます。9条を守り、いかすことこそ、求められています。